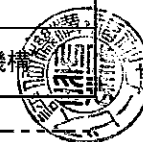


評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

事業所番号	鹿児島県指定 第4670103268号
法人名	社会福祉法人恩賜財団 済生会支部 鹿児島県済生会
事業所名	グループホーム 武岡 ハイランド
訪問調査日	平成 22 年 3 月 16 日
評価確定日	平成 22 年 5 月 13 日
評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構



○項目番号について
 外部評価は30項目です。
 「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。
 「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。
 番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

○記入方法
[取り組みの事実]
 ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。
[取り組みを期待したい項目]
 確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。
[取り組みを期待したい内容]
 「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明
 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
 家族 = 家族に限定しています。
 運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。
 職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。
 チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

作成日 平成22年3月25日

【評価実施概要】

事業所番号	鹿児島県指定 第4670103268号		
法人名	社会福祉法人 恩賜財団済生会支部 鹿児島県済生会		
事業所名	グループホーム 武岡ハイランド		
所在地	鹿児島県鹿児島市小野町2427番2 (電話) 099-283-7231		
評価機関名	NPO法人 自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構		
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号		
訪問調査日	平成22年3月16日	評価確定日	平成22年5月13日

【情報提供票より】 (22年3月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 15 年 7 月 1 日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	17人	常勤15人	非常勤 2人 常勤換算15人

(2) 建物概要

建物構造	軽量 鉄骨 造り
	平屋 建て

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	45,000 円	その他の経費(月額)	50 円
敷金	有 (円) ○無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 30,000円	有りの場合 償却の有無	無
食材料費	朝食	300 円	昼食 450 円
	夕食	450 円	おやつ 0 円
	または1日当たり 1,200 円		

(4) 利用者の概要 (3 月 1 日現在)

利用者人数	18名	男性	1名	女性	17名
要介護1	1名	要介護2	6名		
要介護3	10名	要介護4	1名		
要介護5	0名	要支援2	0名		
年齢	平均 88歳	最低	77歳	最高	98歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	済生会鹿児島病院・植村病院・島田内科・パールランド病院・横山記念病院・横峯病院・下田平歯科医院
---------	-------------------------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当ホームは、鹿児島市西北部の高台に位置し、閑静な場所で母体法人の運営する特別養護老人ホーム・通所介護事業所・訪問看護事業所・訪問介護事業所も同敷地内にある。そのため、医療福祉において充実した協力体制が取られ、入居者をはじめ高齢者を抱えている地域住民も安心して日々の生活ができています。管理者・職員は、「このホームには、自らも入りたい」「家族や親戚にも自信を持って勧めたい」ということを目標にサービスの質や内容の向上に取り組んでいる。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 運営推進会議を活かした取り組みについては、地域包括支援センター職員等の参加のもとに行われ、幅広い立場の人が参加し、助言や要望等が交わさ、会議を活かした取り組みをしており、課題は改善されている。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 運営者や管理者・職員は、自己評価や外部評価の意義をふまえて全員で取り組み、スタッフ会議において検討し、その結果を取りまとめたケアの気付きになっている。外部評価の結果についてもサービスの質向上に活かしている。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 会議は、民生委員・家族代表・地域包括支援センター職員・消防署職員・町内会役員等が参加し、定期的開催している。事業所の現状や行事・事例紹介・外部評価結果等の報告を行い、意見や要望を聞き、サービスの質向上に活かしている。
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 家族の面会時に、気軽な気持ちで意見や要望を職員に言えるような雰囲気づくりに努め、更に定期的に家族からアンケートで意見や要望を聞いている。それらの意見を運営に反映させている。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 地域での運動会や文化祭へ参加し、六月灯へ出かけたり、ホームや事業所の夏祭りや秋祭り・敬老会・クリスマス会等に地域住民や園児が訪れるなどして、交流を図っている。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型サービスの意義と役割、慣れ親しんだ地域で暮らし続けられるために、職員の意見を集約して事業所独自の理念をつくりあげている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者は日々の申し送り時やスタッフ会議等で、理念に基づいたケアが実践できるように日々取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一人として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域での運動会や文化祭へ参加し、六月灯へ出かけたり、ホームや事業所の夏祭りや秋祭り・敬老会・クリスマス会等に地域住民や園児が訪れるなどして、交流を図っている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	運営者や管理者・職員は、自己評価や外部評価の意義をふまえて全員で取り組み、スタッフ会議において検討し、その結果を取りまとめてケアの気付きになっている。外部評価の結果についてもサービスの質向上に活かしている。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議は、民生委員・家族代表・地域包括支援センター職員・消防署職員・町内会役員等が参加し、定期的で開催している。事業所の現状や行事・事例紹介・外部評価結果等の報告を行い、意見や要望を聞きサービスの質向上に活かしている。		


外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村担当者や地域包括支援センターの職員と常に行き来する機会を設け、情報交換や指示・指導を受け、サービスの質向上に取り組んでいる。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月「ふれあい通信」を発行して、入居者の暮らしぶりや行事等の報告をしている。健康状態について変化があれば電話で連絡している。また金銭管理については面会時に出納簿を提示し確認をもらっている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の面会時に、気軽な気持ちで意見や要望を職員に言えるような雰囲気づくりに努め、更に定期的に家族からアンケートで意見や要望を聞いている。それらの意見を運営に反映させている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	管理者は入居者が馴染みの支援を受けられるように配慮し、職員の異動や離職がある場合には入居者に説明し、安心して暮らせるように支援している。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内の勉強会や段階的に応じた外部研修に積極的に職員を参加させて、働きながらレベルアップに努めている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	法人グループとの事例検討会や情報交換等を行い、他グループホームとの見学交流やケースカンファレンスに参加し、サービスの質の向上に取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	サービスを開始する前に本人や家族に事業所見学をしてもらい、ホーム職員が出向いて説明をするなど安心して入居できるように努めている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	入居者のそれぞれの生活歴や力量を勘案し、職員は常に入居者は人生の先輩であるという意識のもとに、一緒に過しながら本人から学んだり、支えあう関係を築いている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居者一人ひとりの日々の関わりの中で、声をかけるなどして把握に努めている。困難な場合は、行動や表情から推し測ったり、それとなく確認するようにしている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	入居者や家族・必要な関係者から要望や意見を聞き、また、職員の意見や気づきを話し合い、介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は3カ月ごとに見直しを行っている。スタッフからの申出があれば見直し前でも本人や家族や関係者と話し合いながら、現状に即した介護計画を作成している。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、 事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしてい る	入居者や家族の要望により、受診の送迎や買 物・美容院への外出支援など、多機能性を活か した柔軟な支援を行っている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得ら れたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、 適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族の希望する、かかりつけ医の受診を 支援している。また、協力医療機関の支援によ り適切な医療が受けられている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、で きるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかか りつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共 有している	入居時に家族に説明を行い、必要時に「看取り に関する指針」を基に確認印をもらうように なっている。方針については職員で共有してい る。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるよう な言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱い をしていない	管理者は、職員会議時や事あるごとに職員の意 識向上を図り、入居者のプライバシーを損ねな いように、言葉かけや記録等の取扱いについて 徹底している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、 一人ひとりのペースを大切に、その日をどのよ うに過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的にはその日の流れはあるが、一人ひとり の力量やペースを大切に、希望にそって支援し ている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者の個々の力を活かしながら、調理の盛り付け・配膳・片づけ等を職員と一緒にを行い、楽しくテーブルで食事をしている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	曜日や時間帯は決めておらず、自由に入浴したい時に利用できるようにしている。また隣接しているデイサービスの温泉を利用することもあり、入浴を楽しめるように支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入居者の生活歴を参考にしたり、得意分野を発揮してもらえるように支援し、感謝の言葉を伝えるようにしている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気の良い日は、散歩や買い物に行ったり、隣接するデイサービスの行事にも参加するなどして楽しんでいる。また恒例の桜見物なども計画している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中、玄関または勝手口の鍵をかけないようにしているが、立地環境により安全面を配慮し、施錠をしている時間もある。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回消防署の協力のもとに、防災訓練や昼・夜間想定避難訓練を行っている。敷地内にある母体法人施設との協力体制もできている。緊急時の食料や飲料水・備品等の確保もしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食べる量や水分摂取量は個別に記録がされている。法人内の施設の栄養士から栄養バランスのアドバイスをもらっている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間には季節の花や置物が飾られ、季節感を採り入れており、居心地良く過ごせる配慮がされている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者の部屋には、使い慣れた家具類や家族の写真・鏡台等が置かれ、本人が居心地良く過ごせるような工夫をしている。		

※  は、重点項目。